

令和5年度全国学力・学習状況調査 問題別調査結果の概要

秩父市教育委員会 教育研究所

小学校

【国語】

- 「C読むこと」は県の平均正答率と同等、全国の平均正答率を上回った。
- 〈問題形式〉の「記述式」は、県の平均正答率を上回った。
- ▼〈知識・技能〉の「選択式」の問題に課題がある。

【算数】

- ▼全体的に課題があるが、特に「A数と計算」において、県の平均正答率との開きが大きい問題が多い。
- ▼記述式の問題について、県の平均無回答率より高い問題が多い。

中学校

【国語】

- 〈知識及び技能〉(1)言葉の特徴や使い方に関する事項は県の平均正答率を上回った。
- 〈知識及び技能〉の「漢字」は県・全国の平均正答率を大きく上回った。
- ▼〈思考力・判断力・表現力〉の「選択式」の問題に課題がある。

【数学】

- ▼「B図形」、「C関数」の問題に大きな課題がある。
- ▼県の平均正答率を上回る問題も1問あるが、10%程度下回る問題が3問あり、課題となる問題がはつきりしている。

【英語】

- ▼短答式、記述式の正答率が県平均を大きく下回っている。
- ▼県の平均正答率を10%以上下回っている問題が10問、県の平均正答率を20%程度下回っている問題が4問あり、特に課題となっている問題がはつきりしている。
 - ・事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する問題
 - ・英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題
 - ・英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、英文を完成させる問題
 - ・メールの英文を依頼する表現に書き換える問題

秩父市の傾向と課題より

- ・小学校6年生、中学校3年生共に、多くの教科で大きな谷があり、山が左側に偏っている傾向がある。このことから、中央値より2～3問程度高い児童生徒と中央値から2～3問程度低い児童生徒の差が大きい問題を分析し、授業改善することで、効果的に秩父市の児童生徒の学力向上を図ることができると思う。

